

「射水市の観光地でのコロナ対策」

指導教員：教授 矢野 恵子

担当学生：水島 美海、水島 優花、箕成 菜月、三和 睦

1. 目的

感染防止管理論で学んだ理想の感染対策と、実際に観光地で行われている現実での感染対策を比較して、私たちが授業で学んだことを生かしながら、より良い感染対策を考えたいと思った。また、コロナウイルス感染症の一時的な収束により、緊急事態宣言が5月に解除され、7月22日からGo to キャンペーンが始まったことで、いままでコロナウイルス感染症の拡大に伴って途絶えていた県外からの客足が徐々に回復してきた。その結果、県内にコロナウイルスが入ってくる可能性も高まった。それに伴い、観光地では客足を戻す工夫と同時に、感染拡大防止策も実施しているだろうと考えた。その工夫や感染拡大防止策を調べて、安全に観光できるということを伝えるため。

2. 方法

射水市のホームページ（射水市公式観光サイト きららか射水観光 NAVI）より、射水市の代表的な観光地を調べる。全166か所の観光地を4項目（見る、遊ぶ、歴史を感じる、食べる）に分類し、特に代表的な観光地を抽出する。

抽出した新湊大橋、櫛田神社、海王丸パーク、新湊きつときと市場に、Go to トラベルの期間内の平日・休日の同じ時間帯に行き、そこで車の台数、車のナンバー、コロナ対策を調べる。

3. 結果

<車の台数>

	2020/10/21 (木)	2020/10/25 (日)
新湊大橋(あいの風プロムナード)	0台 (図 1-1)	0台 (図 1-2)
櫛田神社	2台 (図 2-1)	4台 (図 2-2)
海王丸パーク	40台 (図 3-1)	184台 (図 3-2)
新湊きつときと市場	48台 (図 4-1)	129台 (図 4-2)

平日と休日と比較して、休日の方が車の台数が多かった。



<コロナ対策>

	代表地	コロナ対策
見る	新湊大橋 (あいの風プロムナード)	・3密の回避、人と人との距離の確保をするよう書かれた張り紙の設置
歴史を感じる	榑田神社	・おみくじ、お守り売り場に透明のビニールカーテン
遊ぶ	海王丸パーク	・アルコール消毒の設置 ・感染者が発生した際に連絡がとれるように氏名・連絡先の記入をしてもらう ・3密を避けるために船の中の通路で人が並ぶため位置をテープで示す
食べる	新湊きつときと市場	・アルコール消毒の設置 ・レジに透明のビニールカーテン ・トイレのハンドドライヤーの使用禁止 ・試食を個別包装 ・マスク着用・アルコール消毒を促す張り紙 ・4人掛けのテーブルの椅子の数を2つに減らす

4. 考察

「遊ぶ」ことができる海王丸パークや、富山の特産品を「食べる」ことができる新湊きつときと市場は、「見る」「歴史を感じる」場所よりも県外広範囲からの観光客が多いことが推測された。

実際に感染対策を見てきて、新湊きつときと市場では、試食の個別包装が行われていた。一般的には試食をやめているところが多いが、個別包装を行うことは、安全に試食を体験してもらうことができる工夫だと感じた。

また、榑田神社では、おみくじと、お守り売り場に透明ビニールカーテンが設置されているが、人が増える初詣のときなどに、さらなる工夫が必要だと考えた。

5. まとめ

今回調べて分かったコロナ対策について詳しく書かれたものを写真付き看板としてお

店の前に掲示したり、ホームページに掲載したらよいと考えた。

時期によって来客数が変わるため、それに伴って感染対策を変えていく必要があると考えた。

アルコール消毒は良い点だが、コロナ禍に慣れてきたせいで、消毒を怠る人が増えてい
ると感じるので、設置するだけでなく、アルコールを持った従業員が出入り口に立ち、
直接アルコール消毒をお願いすることで消毒の徹底につながると考えた。

人が増える初詣のときに本坪鈴（参拝の際に鳴らす鈴）の持ち手に直接触らないよう、
巫女さんなどに使い捨て手袋を配ってもらい接触感染を防ぐとよいと考えた。

引用文献等：射水市公式観光サイト [きららか射水観光 NAVI] <https://www.imizu-kanko.jp/>